

事業名	実施日	資料番号
Ⅰ. 地域が求める市民センターのあり方		
1. 多世代・多文化交流ができる施設		
①子育てふれあいサロンの実施	毎月	ア
キッズフェスタの実施	7月25日(土)	イ
②こども居場所(ユースセンター「トヨノコ」)	8月25日(火) ～28日(金)	ウ
③卓球イベントの実施	9月13日(日)	エ
④多文化料理教室の開催	11月26日(木)	オ
2. いろいろなジャンルを気軽に誰でも学べる施設		
①定期的な図書スペースの書籍を入れ替え	調整中	
②スマートフォン講座の開催	9月18日(金)	カ
3. 災害時に豊野地区の対策本部的機能をもつ施設		
①市の対策本部との円滑な連絡をとりあうために、避難所担当職員との協力 豊野市民センター 藤塚公民館	調整中 10月22日(木)	キ
②地区の対策本部要員の役割分担を明確にしておく		
③避難所開設、運営訓練の複数回実施 総合防災訓練 避難所開設訓練	11月21日(土) 12月12日(土)	ク ケ
4. 行政手続きの利便性が良い施設		
①地区センター機能の定期的な周知	4～6月号掲載	
Ⅱ. 地域住民のできる活動について		
地域住民の交流イベント『第35回 銚 豊 フェスタ』への参加 日時 令和8年11月1日 日曜日 10時から14時30分 場所 薬師沼親水公園 出店内容 ① 春日部市及び市民センターのPR等 「Myタウンとよの」配布及び展示 ② 市民センターによる体験ブースの企画運営 オリジナル缶バッチの作成体験		コ

ア	豊野地区公民館・藤塚公民館 事業報告				
事業名	子育てふれあいサロン	対象	0歳～5歳児とその保護者	SDGs関連	4・1・1
内容 ねらい 講師等	乳幼児の自由な遊び場として、また育児への不安や悩み、ストレスの解消のための保護者の交流・情報交換の場として開設する。講師は、日本レクリエーション協会公認指導者、ヤマハ認定講師、助産師等に依頼している。更生保護女性会豊野支部の協力のもと実施している。				
開催日時	豊野市民センター 5・7・9月すべて第3木曜日 10時から11時30分 藤塚公民館 4・6・8月すべて第4金曜日 10時から11時30分	回数等	毎月1回		
会場	豊野市民センター 講堂・和室 藤塚公民館 大会議室・和室	参加者数	豊野市民センター 28名 藤塚公民館 27名		

子育てふれあいサロンの様子

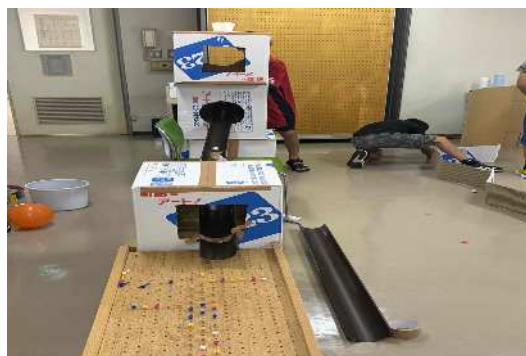


実施の状況	開催の周知は公民館だより、子育て情報メール配信、春日部市公式LINE、公民館ブログを行っている。参加申込みは予約定員制とし、状況により当日参加も可としている。講師には事前に参加人数や子供の年齢層を伝え、参加した親子が楽しめるプログラムを組んでもらい、実施している。
成果・参加者の声など	SNSによる周知の効果で豊野地区以外の参加者も増えてきている。参加者同士の交流の時間も設け、情報交換の場にもなっている。 参加者からは、「自宅ではできない色々な遊びに触れられて、楽しく参加できました。」「親子で体を動かせてよかったです。」など、大変満足した、また実施してほしいという意見をいただいた。

イ	豊野地区公民館・藤塚公民館 事業報告				
事業名	第7回 豊野キッズフェスタ	対象	小学生以下	SDGs関連	4・1・1
内容 ねらい 講師等	【目的】 地域子どもたちに楽しめる場を提供し、ものづくりなどの体験をとおして豊かな成長に寄与することを目的とする。 【講師等】 食生活改善推進員協議会豊野地区、共栄大学子ども教室サークル、ボーイスカウト春日部第7団、ダーク浜、庄和マジッククラブ、更生保護女性会豊野支部、豊野折り紙サークル、加賀山良子、豊野中学校ボランティア部、生涯学習市民推進員				
開催日時	令和8年7月25日(土) 9:30~12:30	回数等	1回		
会場	豊野地区公民館 全館	参加者数	62名		
キッズフェスタの様子					
					
実施の 状況	開催の周知は館内のポスター掲示、公民館だより掲載、近隣小学校の児童へチラシ配布、子どもの遊び場に訪れた子に直接チラシ配布を行った。 小学生に楽しんでもらえる事業とするため、教育学部をもつ大学の子ども教室サークル、市内のボーイスカウト、日ごろ公民館で活動を行っている団体及び個人に講師を依頼した。 また、ボランティアとして、生涯学習市民推進員、豊野中学のボランティア部が協力していただけた。				
成果・参加者の声 など	「マジックショーがすごく面白かった。」「マフィン作りを体験できてよかった。」「とても楽しかった。ずっと続けてほしい」との声が寄せられた。 ただ、子どもがいなくなってしまう時間帯も生じたため、来年度は個々のイベントの時間調整、内容の見直しを行っていき、たくさんの参加者を募れる事業としたい。				

ウ	豊野地区公民館・藤塚公民館 事業報告				
事業名	豊野ユースセンター「トヨノコ」	対象	小・中学生	SDGs関連	4・11
内容 ねらい 講師等	春日部市こども育成課による、こどもの居場所設置プロジェクト こどものつくりたい場所をつくるをコンセプトに、こどもからの意見聴取を行いながら、小学生および中学生の居場所としての機能向上に、公民館も協力していく。 運営協力：共栄大学				
開催日時	令和8年8月25日(火) ～28日(金)12:30～17:30	回数等	4日間		
会場	豊野地区公民館 研修室1・2	参加者数	延べ76名		

「トヨノコ」の様子



実施の 状況	勉強可・遊び可・おしゃべり可等のエリアを設けたり、イベントを行ったりした。 大学生ユースワーカーが安全管理をかねて、こどもたちと一緒に過ごし、ひとりでも、だれとでも安心して過ごせる場所を豊野地区公民館で提供できた。
成果・参 加者の声 など	成果など ・初日～3日目までの登録者が確実にリピーターとなって来場した。 ・ユースワーカーに愛着するこどもはほとんどおらず、こどもたちだけで遊ぶ姿が多く見られた。けんかや言葉遣いの荒さなど、こども同士のトラブルはまったくなく、ユースワーカーとも良好な関係性を保つことが出来た。 ・こどもたちが自主的に遊びを楽しんでいるのを尊重し、学生が用意したイベントが押しつけがましくならないよう留意して、こどもの居場所としての賑わいを十分に保つことが出来た。

工	豊野地区公民館・藤塚公民館 事業報告				
事業名	卓球で汗を流そう 公民館へlet's go	対象	一般	SDGs関連	4・11
内容 ねらい 講師等	豊野市民センターのサークル（卓球団体等）と小学生、中学生、親子等が卓球を通じて交流・親睦を深めるとともに、健康の増進を図る。また、スポーツに親しむとともに、市民センター利用の向上を図ることを目的とする。				
開催日時	令和8年9月13日(日) 10:00～11:30	回数等	1回		
会場	豊野地区公民館 講堂	参加者数	20名		

卓球大会の様子



実施の状況	卓球大会実施に向け、7月25日(土)キッズフェスタ参加者に大会参加の呼びかけ、公民館だより8月号、9月号掲載、8月上旬 PTA会長にお願いする、8月23日(日)スポーツ推進員に市のスポーツフェアでチラシを配ってもらった、8月19日(水)保護者連絡システム情報発信依頼（保護者にメールが届く）、8月25日～28日のトヨノコでのチラシ配布、ブログ配信等をしたが、8月末までに数人しか集まらず、急ぎょ大会から、卓球を楽しむ自由参加の講座とした。
成果・参加者の声など	大会形式から自由参加形式へ変更し、チラシの配架やブログ配信をしたり、子どもの遊び場に来館する子どもたちへの直接の声かけ等の効果で、当日は20名の参加があった。公民館利用者のレインボー卓球、楽打クラブの団体や、スポーツ推進委員協力のもと、講座を行ったが、参加者からは、もっと卓球をやりたいという声があった。また、参加者の親子1組が頻繁に公民館（卓球）を使用するようになった。

豊野地区公民館・藤塚公民館 事業報告

力	豊野地区公民館・藤塚公民館 事業報告				
事業名	必ず役立つ入門講座 「シニア向けスマホ教室」 「インターネットを安全に使うために」	対象	60歳以上	SDGs関連	4・11
内容 ねらい 講師等	日常生活に役立つさまざまなテーマを選び、日々の生活に活用できる学習の機会をつくる。				
開催日時	令和8年9月18日(金) 10:00～12:00 豊野市民センター 13:30～15:30 藤塚公民館	回数等	2回		
会場	豊野市民センター 講堂 藤塚公民館 大会議室	参加者数	豊野市民センター 藤塚公民館	14名 13名	

「シニア向けスマホ教室」の様子



豊野市民センター



藤塚公民館



「インターネットを安全に使うために」の様子

実施の
状況

日常生活に役立つ学習として、DX・デジタル社会に関連した講座を行政デジタル改革課と連携し「シニア向けスマホとフォン教室」を実施した。
また、併せてサイバー犯罪に巻き込まれないよう、埼玉県の県政出前講座を活用し、「インターネットを安全に使うために」を実施した。

成果・参
加者の声
など

参加者の感想

親切に教えてもらいました、わかりやすく教えていただきとても良かった、機会があれば再度参加したいと思います、など参加者の声が寄せられた。